

神奈川県総合リハビリテーションセンター あり方検討会（第7回）資料



令和7年12月26日（金）

神奈川県総合リハビリテーションセンター
あり方検討会（第7回）

神奈川県健康医療局保健医療部県立病院課

【本日のスケジュール】

- 1 検討事項一覧
- 2 本日、お諮りしたいこと
- 3 協議事項
 - ① リハセンターの担うべき機能
 - ② 機能を担うための運営体制

検討事項一覧

開催回数	開催予定時期	検討内容
第1回	令和6年10月	現状と課題の抽出、調査内容、分析項目
第2回	令和7年1月	県内二一ズの把握、他施設との比較・分析、論点整理
第3回	3月	病院のあり方について
第4回	5月	〃
第5回	7月	福祉施設のあり方について
第6回	10月	福祉施設のあり方・医療と福祉の連携について
第7回	12月	<ul style="list-style-type: none">・リハセンターの担うべき機能・機能を担うための運営体制
第8回	令和8年1月	<ul style="list-style-type: none">・リハセンターの経営状況・検討会報告書の骨子
第9回	2月	検討会報告書（案）
第10回	3月	検討会報告書とりまとめ

本日、お諮りしたいこと

- ① リハセンターの**担うべき機能**
- ② **機能を担うための運営体制**

議 題

① リハセンターの担うべき機能

リハセンターの担うべき機能 【医療】 神奈川リハビリテーション病院

リハセンターの担うべき機能【医療】

1. 高度専門的なリハビリテーション医療の広域拠点機能

2. 地域に対するリハビリテーション医療による支援機能

3. 災害時のリハビリテーション医療機能

1. 高度専門的なリハビリテーション医療の広域拠点機能

(1)

高度専門的なリハビリテーション医療の実施機能

(2)

リハビリテーション医療にかか
る人材育成の
拠点機能

(3)

リハビリテーション医療にかか
る研究機関機能

1. 高度専門的なリハビリテーション医療の広域拠点機能

(1) 高度専門的なリハビリテーション医療の実施機能

高次脳機能障害の 支援拠点

(高次脳機能障害支援センター)

高次脳機能障害の評価、
その後起こるであろう問題の把握、トレーニング、
御家族の障害理解の援助

脊髄障害の支援拠点

(重度脊髄損傷者受入
環境整備事業)

脊髄損傷による四肢
麻痺、排尿・排便や
生殖機能の障害、自
律神経の障害など、
複数の診療科の連携
による治療

小児神経疾患の 支援拠点

後天性脳損傷、脊髄
損傷、脳性麻痺、神
経疾患などのお子さん
に対して、回復期から
生活期にかけての医
療・支援

変形性股関節症等の 骨関節疾患の支援拠点

変形性股関節症・膝関
節症、変形性腰椎症・
頸椎症など、保存療法、
温熱療法、運動療法、
薬物療法、手術療法に
よる治療

1. 高度専門的なリハビリテーション医療の広域拠点機能

高次脳機能障害の 支援拠点

(高次脳機能障害支援センター)

脊髄障害の支援拠点

(重度脊髄損傷者受入
環境整備事業)

小児神経疾患の 支援拠点

変形性股関節症等の 骨関節疾患の支援拠点

○未来筋電義手センター

先天性や労災などにより前腕等が欠損した方について、筋電義手の処方・訓練について相談
患者さんの状況やニーズにより、能動義手や装飾義手についての評価も実施
筋電義手の必要性が高い場合、公費による取得を目指した訓練を実施

○義肢装具外来センター（ブレースクリニック）

神奈川リハビリテーション病院内に設置している補装具外来の機能
更生相談所の補完



福祉施設への支援

リハビリテーション医療の治療診断に基づいた視点も含めた支援・評価

1. 高度専門的なリハビリテーション医療の広域拠点機能

(2)リハビリテーション医療にかかる人材育成の拠点機能

質の高い専門人材の育成
医師を含めた多職種連携の総合力を高めるための人材育成

医師の育成拠点

- ・専門研修プログラムの基幹施設化・連携施設の充実
- ・ダブルボードカリキュラムの研修施設化

<想定診療科>

リハビリテーション科・総合診療科・整形外科・泌尿器科

多職種（薬剤師・看護師・OT・PT・ST・管理栄養士・心理職）の育成拠点

- ・県立保健福祉大学などの教育機関との連携強化（例：臨地実習カリキュラム）
- ・総合力を高める人材育成プログラムの開発

<想定資格>

リハビリテーション栄養指導士・認定医療ソーシャルワーカー・臨床心理士・特定行為看護師

1. 高度専門的なリハビリテーション医療の広域拠点機能

(3)リハビリテーション医療にかかる研究機関機能

K R R Cの取組
(かながわりハビリロボットクリニック) (筋電義手・補装具)

リハビリロボット全般の相談やさがみロボット産業特区における実証実験

ロボットリハビリテーションの技術支援

大学や関連企業との連携、さがみロボット産業特区との連携強化

大学・企業等との共同研究

ドライビングシミュレーター等の開発支援

多職種連携プログラムの開発

専門人材の総合力を高める育成プログラムの開発

訓練や技能を活用したパラスポーツの普及

体育科等職員の技術及びノウハウ、施設を活かしたコミュニティ形成

リハセンターの担うべき機能【医療】

1. 高度専門的なリハビリテーション医療の広域拠点機能

2. 地域に対するリハビリテーション医療による支援機能

3. 災害時のリハビリテーション医療機能

2. 地域に対するリハビリテーション医療による支援機能

地域の障害者支援施設等への支援機能

- ・利用者と地域の障害者支援施設（就労支援施設やグループホーム等）を繋ぐ役割（ハブ的機能）
- ・通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハセンターの専門職の関与を推進
- ・リハビリテーション医療に基づく助言・技術支援の充実（脳血管障害、脊髄損傷、脳外傷など身体機能の維持・向上、介護・介助方法、福祉用具や支援機器の活用、住環境設備、福祉制度、社会資源の活用など）

地域の医療機関への支援機能

- ・紹介受診重点医療機関として、他の医療機関や施設との医療情報の共有、拠点病院との機能分化
- ・地域の中核病院との連携の強化
- ・地域医療機関との連携強化による、急性期を脱した患者への対応強化
- ・在宅療養中の患者の急変時の対応などバックアップ体制の強化

リハセンターの担うべき機能【医療】

1. 高度専門的なリハビリテーション医療の広域拠点機能

2. 地域に対するリハビリテーション医療による支援機能

3. 災害時のリハビリテーション医療機能

3. 災害時のリハビリテーション医療機能

new

県内
(県央地域が被災)

災害拠点病院を補完する役割

- ・障害者の方を中心とした災害協力病院(※1)化
- ・拠点病院との連絡窓口の明確化及び、定期的な情報交換

※1：大規模災害発生時において災害拠点病院をバックアップし、傷病者等の受入等の医療救護活動を行う病院として位置づけられています。
令和7年4月1日現在、県内46か所の病院が指定



福祉避難所等への入所困難者の受入

- ・食料や衣類毛布等の備蓄や、被災者の受け入れスペース等、受け入れ体制の確保
- ・指示系統及びマニュアルの策定
- ・定期的な訓練の実施

※2：被災者・要配慮者の生活不活性発病や災害関連死等の予防に関する適切な対応を可能とすることで被災者が早期に災害を乗り越え、自立生活を再建、復興できることを目指し、活動している

県外
(被災地域外)

災害時支援活動

- ・JRAT(日本災害リハビリテーション支援協会(※2))やDWAT(災害派遣福祉チーム(※3))への参加

※3：医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム

リハセンターの担うべき機能

【福祉】

七沢学園（児童・成人）

七沢療育園

七沢自立支援ホーム

リハセンターの担うべき機能【福祉】

1. 利用者目線に立ったサービス提供施設機能

2. 他の県立福祉施設との連携機能

リハセンターの担うべき機能【福祉】

利用者目線に立ったサービス提供施設機能

- ・リハビリテーション医療の治療診断に基づいた視点も含めた支援・評価
- ・利用者の意向に沿った「個別支援計画」による、暮らしを豊かにするための支援
- ・地域移行に向けた支援（地域との連携）
- ・退所先の施設（グループホーム等）での生活の質を高めるため、退所先の人材の育成フォロー
- ・心理の専門家や児童心理の専門家なども含めた多職種をメンバーとする定期的な事例介入

他の県立福祉施設との連携機能

- ・他の県立福祉施設との人材育成のノウハウやカリキュラム等の情報交換
- ・「福祉を科学する」取組との連携

センター機能の強化

センター機能の強化

1. 病院・福祉施設を横断的に調整する機能

2. 地域リハビリテーション支援センター

センター機能の強化

病院・福祉施設を横断的に調整する機能

- ・経営分析などの経営戦略機能や、外部への情報発信などの広報機能の強化
- ・人材の確保・育成機能の強化
- ・医療と福祉を包括的・横断的にコーディネートする中枢機能
- ・医療DXの推進
- ・総合相談室、地域リハビリテーション支援センター、地域連携室の再構築
- ・危機管理機能（医療安全・感染症対応等）の強化

地域リハビリテーション支援センター

- ・リハビリテーション専門相談・研修機能
- ・高次脳機能障害支援の県内拠点
- ・地域リハビリテーション推進事業の拠点
- ・全県的な地域へのリハビリテーション医療支援ネットワーク
- ・地域在宅支援施設等との連携
- ・地域の施設へのノウハウや技術のアウトリーチ支援機能

議 題

② 機能を担うための運営体制

機能を担うための運営体制

	運営において必要な『体制』	備考
1(1)高度専門的なリハビリテーション医療の実施機能	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い患者の受け入れを可能にするために、総合内科医を配置 ・様々な疾患に対応できるよう精神科医を配置 ・引き続き、リハ病院の強みである整形外科を主軸にし、標榜診療科は維持 ・福祉部門との連携窓口等の設置 ・医療安全体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの質の向上のため、病床規模を整理 ・看護体制の見直しを検討 ・医療DXの強化
1(2)リハビリテーション医療にかかる人材育成の拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> ・指導医の確保 ・人材の確保、育成部門の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等との連携強化
1(3)リハビリテーション医療にかかる研究機関機能	<ul style="list-style-type: none"> ・研究部門の強化 ・リハの強みである機能をPRするための営業力（調整人材）の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と大学等との連携強化

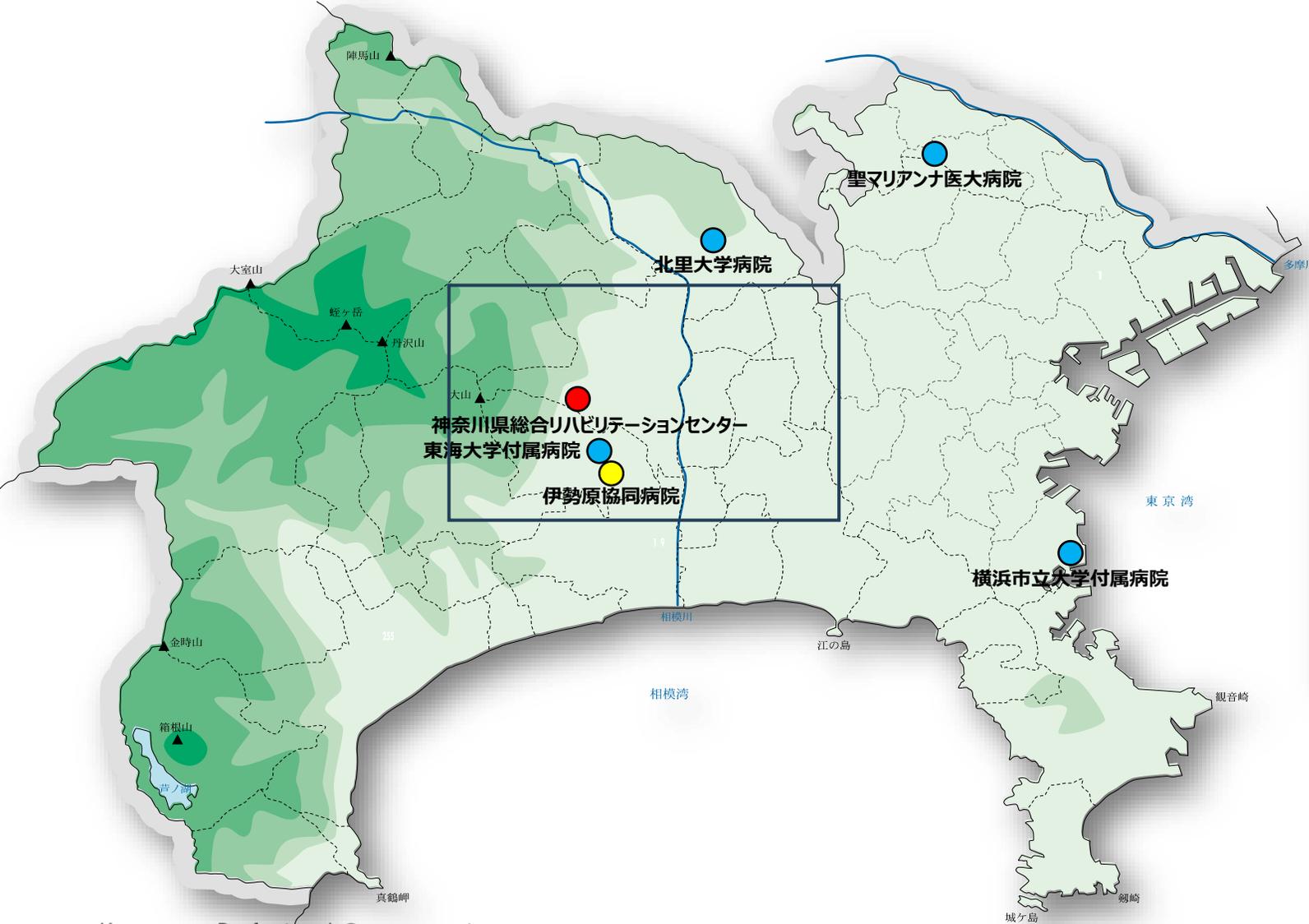
機能を担うための運営体制

	運営において必要な『体制』	備考
2. 地域に対するリハビリテーション医療による支援機能	<ul style="list-style-type: none">・利用者のトータルコーディネート部門の設置・地域の関係機関との調整部門 (総合相談室、地域リハビリテーション支援センター、地域連携室を再構築)	<ul style="list-style-type: none">・O T、P Tなど専門スタッフの業務領域と役割の整理
3. 災害時のリハビリテーション医療機能	<ul style="list-style-type: none">・平時から災害対応ができる体制整備 (J R A T、D W A Tの体制構築も含む)	<ul style="list-style-type: none">・食料や衣類毛布等の備蓄や、被災者の受入スペースの確保

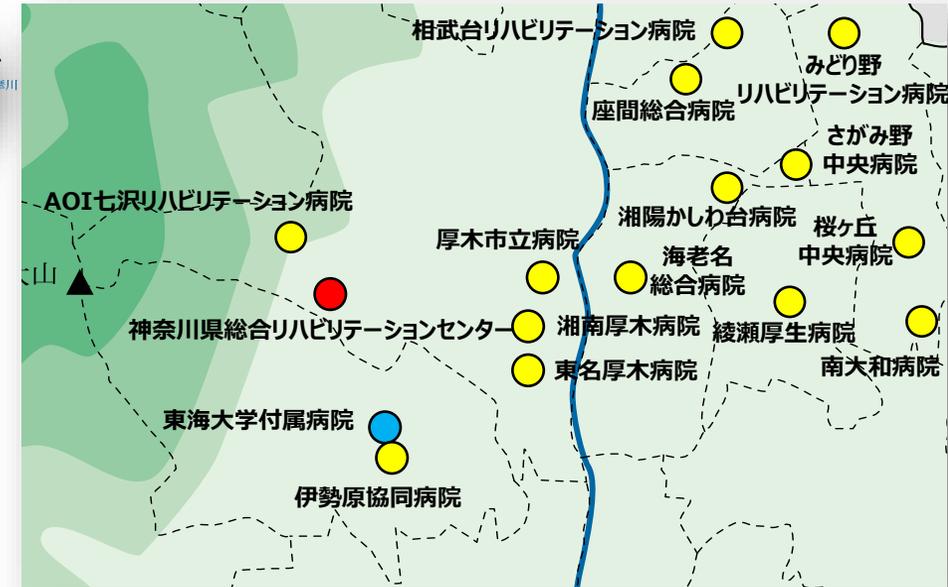
機能を担うための運営体制

	運営において必要な『体制』	備考
<p>【福祉】</p> <p>1. 利用者目線に立ったサービス提供施設機能</p> <p>2. 他の県立福祉施設との連携機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者目線の支援につながるサービスや研修研究部門の設置 ・医療部門との連携窓口等の設置 ・臨床心理士、セラピストの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・退所先の施設への人材育成フォローの体制整備
<p>【リハセンター】</p> <p>1. 病院・福祉施設を横断的に調整する機能</p> <p>2. 地域リハビリテーション支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略部門の設置（経営分析、広報、人材確保・育成等） ・利用者のトータルコーディネート部門の設置（総合相談室、地域リハビリテーション支援センター、地域連携室を再構築） ・医療安全と感染症対応の強化 ・医療DXの推進体制部門の設置（施設内ネットワーク・地域との連携等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・退所先の施設への人材育成フォローの体制整備 ・医療DX、IT化

(参考) 近隣医療機関



Kanagawa Prefectural Government



●: 大学病院

●: 回復期リハ病棟を有する病院

説明は以上です。